

史料番号	字句	よみ	意味
65	駅通	エキテイ	郵便
66	不果 遺憾 其儘 可成 抑も 先 左すれば 過般 承る 將た 屹立 悉皆 廉々 郡衙 極まり居る事故 夙に 面謁 官衙 詮方なし 聊か 設置採用可相成や 爰に 而して 后 杯	ハタセズ イカン ソノママ ナルベク ソモソモ マズ サスレバ カハン ウケタマワル ハタ キツリツ シツカイ カドカド グンガ キワマリイルコトユエ ツトニ メンエツ カンガ センカタナシ イササカ セツチサイヨウアイナルベキヤ ココニ シコウシテ、シカシテ ノチ ナド	果たせず 残念に思うこと そのまま できるだけ そもそも まず そうすれば さきごろ 先般 拝聴する そのうえまた 人が動かずに立っていること 残らず 全部 それぞれの箇所 郡の役所 決まっていることから ずっと以前から 早くから お目にかかること 役所 官庁 なすべき方法が見つからない どうしようもない ほんの少し わずか 設置採用に成るのであろうか ここに そして また それから 後 等
67	益 賀 陳は 喋々 就中 差支 不尠 客年 橋梁 悉く 殊に 彼我 如斯 凡 不得已 窺ふ 郡衙 距る 里 間道 丁 一朝 爰に 比隣 所以 義捐 釀出 思召 尤も 内報 乃至 貴意	マスマス ケイガ ノブレバ チョウチョウ ナカンズク サシツカエ スクナカラズ カクネン キョウリョウ コトゴトク コトニ ヒガ カクノゴトク オオヨソ フトクイ ウカガウ グンガ ヘダテル リ カンドウ チョウ イッチョウ ココニ ヒリン ユエン ギエン キョシュツ オボシメシ モットモ ナイホウ ナイシ キイ	ますます 喜び祝うこと さて 候文などの手紙で、時候のあいさつの次、本文の書き出しに用いる よくしゃべるさま くだくどという とりわけ 支障 少なくない 昨年 橋 すべて みな とりわけ かれと、われ このような だいたい 不得意 様子を見る 郡の役所 …の間の距離 尺貫法の距離の単位 1里は36町で、3.927キロ 主な道から外れた道 脇道 尺貫法の距離の単位 1丁は60間で、約109メートル 二十余丁=約2300m~2500m わずかな間 ここに 近隣 理由 慈善や被災者救済などの趣旨で、金銭や品物を差し出すこと 金品を出し合うこと 拠出 お思い まったく 内々に知らせること ～から あるいは お考え 御意見
68	頼信 遅達 不日	ライシン チタツ フジツ	電報 通達・配達が遅れること 日数をあまりへないこと すぐであること
69	稟請 已に 追々 懸る	リンセイ スデニ オイオイ カカル	上役や上部機関などに申し出て請求すること 既に 順を追って このような

史料 番号	字句	よみ	意味
	刻下 篤と 洞察 設置相成度	コッカ トクト ドウサツ セッチアイナリタク	ただいま 目下 じっくりと 物事を観察して、その本質や、奥底にあるものを見抜くこと 見通すこと 設置してほしく
70	饒多 愈益 照察 御許可被成下 夫々 経営難致候間 下付 御管理被成下 可然 御進達被成下 上呈仕候管 御聞置被下 奥印	ジョウタ イヨイヨマスマス ショウサツ ゴキョカナシクダサレタクネガイタテマツリソウロウ ソレゾレ ケイエイトシガタクソウロウアイダ カフ ゴカンリナシクダサレソウロウヨウシタク シカルベク ゴシンタツナシクダサレタク ジョウテイツカマツリソウロウハズ オキキオキクダサレタクネガイタテマツリソウロウナリ オクイン	きわめて多いさま いよいよますます 物事の本質や当否などをはっきりと見抜くこと 洞察 ご許可下さるようお願いいたします それぞれ 経営がむづかしいので 金品・書類などを役所から下げ渡すこと 交付 ご管理していただくようになりたく いのように ご進達していただきたく 取り上げてくださるはず お聞き置き下されたくお願いいたします 作成した書類の記載事項の正しいことを証明するために、その終わりに押す印
71	方今 陳述 抑も 馬関 所謂 彼此 砥 安穩 顧慮 哩 毎ねに 低廉 哩程 利器 纏め 幾割 噸 距る 里 当り可申 恰も 左れば 謂れ 悉く 薪炭	ホウコン チンジュツ ソモソモ バカン イワユル ヒシ トイシ アンノン コリョ マイル ツネニ テイレン リテイ リキ マトメ イクワリ トン ヘダテル リ アタリモウスベシ アタカモ サレバ イワレ コトゴトク シンタン	ただ今 このごろ 意見や考えを口頭で述べること そもそも 山口県の下関のこと 下関の古称 世間一般にいう あちらとこちらと 砥石 心静かに落ち着いていること ある事をしっかり考えに入れて、心をくばること 1マイルは1760ヤードで、約1.609キロメートル 常に 金額が安いこと 起点からの距離 便利な機械・器具 まとめ 何割か メートル法で、1トンは1000キログラム …の間の距離 尺貫法の距離の単位 1里は36町で、3.927キロ 相当する ちょうど そうであるなら 理由 全部 たきぎと炭 燃料一般
72	下付 茲に 聊か 恰も 蓋し 炎暑 探勝 遊人 寧ろ 苟くも 斯る 軌条 哩 鎖 悉皆 竣功 隧道 貫鑿 現今	カフ ココニ イササカ アタカモ ケダシ エンショ タンショウ ユウジン ムシロ イヤシクモ カカル キジョウ マイル チェーン シッカイ シュンコウ スイドウ、ズイドウ カンサク ゲンコン	金品・書類などを役所から下げ渡すこと 交付 ここに ほんの少し わずか まさしく まさしく たしかに 夏の焼けつくような暑さ 酷暑 景勝の地を訪ねて、その風景を楽しむこと 物見遊山に出かける人 遊客 どちらかといえば かりにも もしも このような 線路 レール 1マイルは1760ヤードで、約1.609キロメートル ヤード-ポンド法の長さの単位、1チェーンは22ヤードで、約20.1168メートル すっかり 全部 建築工事や土木工事が終了すること 竣工 トンネル 掘り削り、貫くこと いま 現在

史料番号	字句	よみ	意味
	半途 機鐘車 厠 竣へたり	ハント キカンシャ カワヤ オエタリ	行程のなかば 中途 機関車 便所 終える できあがった
73	田面 灌溉 竣功 奉伺 開鑿 悪布 就中 挿秧 拘はらず 稻茎 抑も 方今 酷しき 畦畔 荒蕪 困却 曩に 特り 原由 醸す 脆弱 媒 隣佑 情誼 危嶮 県属 叨りに 儘 痛歎 是認 仁恵 寔に 清聴 忌憚 所以 霖雨 蓋し 禦ぐ 堅牢 頓首	タヅラ カンガイ シュンコウ ハウシ カイサク アシク ナカンズク ソウオウ カカワラズ イナクキ ソモソモ ホウコン キビシキ ケイハン コウブ コンキヤク サキニ ヒトリ ゲンユ、ゲンユウ カモス ゼイジャク ナカダチ リンユウ ジョウギ キケン ケンゾク ミダリニ ママ ツウタン ゼニン ジンケイ マコトニ セイチョウ キタン ユエン リンウ ケダシ フセグ ケンロウ トンシュ	田の表面 また、田のほとり 農作物の生育に必要な水を、水路を引くなどして供給し、耕作地をうるおすこと 建築工事や土木工事が終了すること 竣工 目上の人の機嫌をおうかがい申し上げること 土地を切り開いて道路や運河などを通すこと 悪く その中でも とりわけ 田植え …であるのに 稲株 だいたい ただ今 このごろ 厳しい 耕地間の境 あぜ 土地が荒れて、雑草の茂るがままになっていること 困り果てること 先に 以前に 一人 原因 ある状態・雰囲気などを生み出す もろくて弱いこと 双方の間に立って事をとりもつこと 隣家に住む人 隣人 人とつきあう上での人情や誠意 危険 旧制で、県の事務を取り扱う役人のこと やたらに まま ひどく嘆き悲しむこと 人の行為や思想などを、よいと認めること 思いやりの心と、恵み ほんとうに 他人が自分の話を聞いてくれることを敬つていう語 きれいいやがること 理由 何日も降りつづく雨 ながあめ まさしく たしかに 防ぐ 物がしっかりと、壊れにくくできていること 手紙文の末尾に書き添えて、相手に対する敬意を表す語
74	吾も人も 頃日 態々 許り 却て 啣ちて 稍 哩	アモヒトモ、ワレモヒトモ ケイジツ ワザワザ バカリ カエッテ カコチテ ヤヤ マイル	わたも人も 近ごろ このごろ わざわざ …だけ …ほど …ぐらい むしる ひそひそと語る だいたい 1マイルは1760ヤードで、約1.609キロメートル
75	上屋 重畳 山巒 二哩四十鎖 勃興 伴れ 夙に 現今 隣寸 煉瓦 輪環 登竈	ウワヤ チョウジョウ サンラン 2マイル40チェーン ボッコウ ツレ ツトニ ゲンコン マッチ レンガ リンカン ノボリカマ	駅や埠頭などで、旅客または貨物を雨露から防ぐために設けた、柱に屋根をかけただけの建物 幾重にも重なること 山岳 1マイルは約1.609キロメートル 1チェーンは約20.1168メートル にわかに勢力を得て盛んになること …ともない ずっと以前から 早くから いま 現在 マッチ レンガ リング状の窯で、大量のれんがを連続して焼き続けることができる ホフマン窯ともいう 陶磁器を焼く窯の一つ、丘などの傾斜面に階段状に数室から十数室の房を連続して築いたもの

史料番号	字句	よみ	意味
	蚕食 痛撃 変調 僻在 距る 消長 孰れも 長足	サンシヨク ツウゲキ ヘンチョウ ヘキザイ ヘダテル ショウチョウ イズレモ チョウソク	蚕が桑の葉を食うように、他の領域を片端からだんだんと侵していくこと 相手に手ひどい打撃を与えること 調子が変わること 調子が狂うこと 都会から遠く離れた所にあること …の間の距離 勢いが衰えたり盛んになったりすること どれも 進み方の速いこと
76	煉瓦 能く 頗る 偶々 長歎	レンガ ヨク スコブル タマタマ チョウタン	レンガ よく 非常に 偶然 たまたま 長いため息をついて嘆くこと
77	過般 速成 可成	カハン ソクセイ ナルベク	先日 先般 物事を早く仕上げる事 できるだけ
78	嘗て 態々 哩 鎖 官設	カツテ ワザワザ マイル チェーン カンセツ	以前 昔 わざわざ 1マイルは約1.609キロメートル 1チェーンは約20.1168メートル 国家が設立し、維持すること
79	副申 目論見 準拠	フクシン モクロミ ジュンキョ	官庁が申請書やその他の文書を上級機関に伝達するとき、その文書に対して参考意見を述べる事 計画 あるものをよりどころとしてそれに従うこと
80	愈々 爰に 拘らず 尤も 発企 皆人 機業 頗る 薪炭 蓋し 竣成 軌条 毫も 差支 早晚 至大 慶賀	イヨイヨ ココニ カカワラズ モットモ ホッキ ミナヒト キギョウ スコブル シンタン ケダシ シュンセイ キジョウ ゴウモ サシツカエ ソウバン シダイ ケイガ	いよいよ ここに …であるのに 何より 思いついて事を始めること すべての人 織物をつくる事業 織物業 非常に たいそう たきぎと炭 燃料一般 まさしく たしかに 大規模な建築物などができ上がる事 竣工 線路 レール 少しも 支障 おそかれはやかれ いずれ この上もなく大きいこと 喜び祝うこと
81	哩 鎖 岐れて 跨りて 広袤 小都邑 首脳 至大 人煙 洋巾 相俟ちて 益 頗る 畢竟 勞銀 不日	マイル チェーン ワカレテ マタガリテ コウボウ ショウトコウ シュノウ シダイ ジンエン ハンカチ アイマチテ マスマス スコブル ヒッキョウ ロウギン フジツ	1マイルは約1.609キロメートル 1チェーンは約20.1168メートル 分かれて またがって ~わたって 広さ 面積 小都市 都邑=都会 組織や団体の中心にいて指導的な役割を果たす人 この上もなく大きいこと 人家から立ち上る煙 転じて、人の住む気配 ハンカチ 互いに作用し合って ますます 非常に たいそう つまるところ 結局 労働の賃銀 日数をあまりへないこと すぐであること
82	聯絡 不日 因に 兎に角 寧ろ 早晚	レンラク フジツ チナミニ トニカク ムシロ ソウバン	連絡 日数をあまりへないこと すぐであること ついでにいうと ともかく どちらかという おそかれはやかれ いずれ
83	港頭 殆んど 托送	コウトウ ホトンド タクソウ	港の出入口のあたり ほとんど おおかた 託送 人にたのんで送ること 特に、荷物を運送業者などに頼んで送ること

史料番号	字句	よみ	意味
	荏苒	ジンゼン	物事が延び延びになるさま 長引く
84	竣功 技手 哩 鎖 節 呎 做ひ 哩程	シュンコウ ギシュ、ギテ マイル チェーン リンク フィート ナライ リテイ	建築工事や土木工事が終了すること 竣工 官庁・会社などで、技師の下に属する技術者 1マイルは約1.609キロメートル 1チェーンは約20.1168メートル 鎖の百分の一を節として表記しリンク呼ぶ 1フィートは3分の1ヤードで、12インチ、約30.48センチ ならい(倣い) 起点からの距離
85	竣成 維れ 清新 相俟つて 作興 恰かも 予て 甚深 恩顧 蒙る 賁臨 辱ふ 欣喜 抑々 進捗 吞吐 盛に 吾人 聊か 蕪辞 熱誠 罩めたる 球灯 緑門 煙火 未曾有	シュンセイ コレ セイシン アイマツテ サッコウ アタカモ カネテ ジンシン オンコ コウムル ヒリン カタジケノウ キンキ ソモソモ シンチョク ドント サカリニ ゴジン イササカ ブジ ネッセイ コメタル キュウトウ リョクモン エンカ ミゾウ	大規模な建築物などができ上がること 竣工 これ 新鮮でいきいきしていること 互いに作用し合って 奮い立つこと 盛んになること まるで 前から 常に奥が深いこと 情けをかけること よくめんどろをみること 受ける 客を敬って、その来訪をいう語 来臨 身にすぎて、ありがたい 非常に喜ぶこと もともと 本来 物事がはかどること のんだりはいたりすること さかんに わたくし われわれ ほんの少し わずか 自分の言葉や文章をへりくだっていう語 熱情のこもった誠意 入れる 詰める 丸く小さい提灯(ちょうちん) 祝賀の際などに建てる、常緑樹の葉で包んだ弓形の門 花火 今までに一度もなかったこと
86	不日 殆んど 暁は 被むる	フジツ ホトンド アカツキハ コウムル	日数をあまりへないこと すぐであること だいたい 実現したその際は 受ける
87	請願 省線 辞 枢要 喋々 前途遼遠 万般 茲に 勿論 米麦 縞木綿 算盤 已に 饒多 無慮 鎮守府 哩 聴許	セイガン ショウセン コトバ、ジ スウヨウ チョウチョウ ゼントリョウエン バンパン ココニ モチロン ベイバク シマモメン ソロバン スデニ ジョウタ ムリョ チンジュフ マイル チョウキョ	国または地方公共団体の機関に対して、文書で希望を申し出ること もと鉄道省(運輸省)の管理に属した鉄道線 言葉 最も重要であること よくしゃべるさま ぐどぐどという 目的の達成までの時間が長くあること あらゆる方面 すべての事柄 ここに いうまでもなく 米と麦 縞を織り出した綿織物 そろばん 以前に 前に きわめて多いさま おおよそ ざっと 旧日本海軍で、所管海軍区の警備・防御に関することをつかさどり、所属部隊を監督した機関 1マイルは約1.609キロメートル 訴えや願いをききいれて許すこと
88	承継 被存候 聴許相成候様 譲渡致度候間 詮議 御許可被成下度	ショウケイ ゾンジラレソウロウ チョウキョアイナリソウロウヨウイタシタク ジョウトイタシタクソウロウアイダ センギ ゴキョカナシクダサレタク	前の代からのものを受け継ぐこと 継承 …と考えられる 訴えをききいれていただくようにいたしたく 譲渡致したいので 評議して明らかにすること ご許可していただきたく

史料番号	字句	よみ	意味
89	竣功 哩鎖節無蓋有蓋緩急車連結	シュンコウ マイル チェーン リンク ムガイ ユウガイ カンキュウシャ レンケツ	建築工事や土木工事が終了すること 竣工 1マイルは約1.609キロメートル 1チェーンは約20.1168メートル 鎖の百分の一を節として表記しリンク呼ぶ ふた、おおい、屋根などが無いこと 屋根やふたなどの、おおいがあること 事故などに備え、車両の一部に手動の制動機などを取り付けた客車・貨車連結
90	余念不日	ヨネン フジツ	ほかの考え 余計な考え 日数をあまりへないこと すぐであること
91	哩勃興相踵いで茲に鼎立詮議這は過日進捗暁は了り専ら	マイル ボッコウ アイツイデ ココニ テイリツ センギ コレハ カジツ シンチョク アカツキハ オワリ モツパラ	1マイルは約1.609キロメートル にわかに勢力を得て盛んになること 次々と ここに 三者が互いに対立すること 評議して明らかにすること これは 先日 物事がはかどること 実現したその際は 終り ひたすら
92	副申 并稠密院線 被認候不免許相成候 詮議御免許被成下 目論見 跨り抑々所謂膏腴殷富占居叙述活況將に櫛比佳良要津浚渫連檐煉瓦要枢殷賑檐隣寸素麵機織枚挙遑具備哩已むなき由之觀之 鉄道院線 徹志 詮議	フクシン ナラビニ チュウミツ インセン ミトメラレソウロウ メンキョアイナラズソウロウヨウイタシタクソウロウ センギ ゴメンキョナシクダサ モクロミ マタガリ ソモソモ イワユル コウユ インブ センキョ ジョジュツ カッキョウ マサニ シッピ カリョウ ヨウシン シュンセツ レントン レンガ ヨウスウ インシン ノキ マッチ ソウメン キショク マイキョ イトマ グビ マイル ヤムナキ コレニヨリテコレヲミレバ テツドウインセン ビシ センギ	官庁が申請書やその他の文書を上級機関に伝達するとき、その文書に対して参考意見を述べること 並びに および また 一つのところに多く集まっていること こみあっていること 鉄道院線 鉄道省＝省線 鉄道国有化に伴い、明治41年(1908)に設置された鉄道行政の中央官庁 大正9年(1920)鉄道省に昇格 認められて 免許なりませんようにいたしたく 評議して明らかにすること ご免許していただきたく、この件をお願いいたします レタクノダンネガイタテマツリソウロウナリ 計画 ～におよぶ わたる まずもって 世間一般にいう 地味が肥えていること また、そういう土地や、そのさま 栄えて豊かなこと ある場所を占めていること 物事について順を追って述べること 景気がよく、活気のあるようす ちょうどいま くしの歯のように、すきまなく並んでいること すぐれていること 交通・商業上の重要な港 底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること 家屋が檐(のき)を連ねること 道路に面して建物が密に並んでいるようす レンガ 肝要な場所 活気があつてにぎやかなこと 屋根の下端で、建物の壁面より外に突出している部分 庇(ひさし) マッチ そうめん はたで布を織ること いちいち数え上げること ひま 必要な物や事柄を十分に備えていること 1マイルは約1.609キロメートル しかたがない 之によりて之を觀れば 官制の鉄道 わずかの志 また、自分の志をへりくだってという語 評議して明らかにすること

史料番号	字句	よみ	意味
93	茲に 衷情 縷述 聖世 恩沢 殷盛 咽喉 扼する 枢要 稠密 沃野 万頃 昌盛 熾盛 試に 指呼 煉瓦 民心 進捗 高潮 一瞥 頗る 勿論 消長 主脳 鉄道院 遅緩 洵に 曩には 下名 宿望 完ふ 万恨 空谷 福音 衷心 翕然 翼賛 翹望 整斎 渴望 殆んど 蹉跎 熾昌 啓運 痛惜 寒心 幾十星霜 困憊 萎靡 岐より 扶掲 悃願 頓首	ココニ チュウジョウ ルジュツ セイセイ オンタク インセイ インコウ ヤクスル スウヨウ チュウミツ ヨクヤ バンケイ ショウセイ シセイ タメシニ シコ レンガ ミンシン シンチョク コウチョウ イチベツ スコブル モチロン ショウチョウ シュノウ テツドウイン チカン マコトニ サキニハ カメイ シュクボウ マツウ バンコン クウコク フクイン チュウシン キュウゼン ヨクサン ギョウボウ 整齊【セイセイ】 カツボウ ホトンド サテツ シショウ ケイウン ツウセキ カンシン イクジュウセイソウ コンパイ イビ ミチヨリ フケイ コンガン トンシュ	ここに うそやいつわりのない、ほんとうの心 衷心 事細かに述べること すぐれた天子の治める世 聖代 おかげ 恵み 恩恵 極めて盛んなこと 繁盛していること 交通の要衝にあたる通路 強く押さえる 最も重要であること 一つのところに多く集まっていること こみあっていること 地味のよく肥えた平野 地面または水面が広々としていること 多くの田畑 盛んなこと 栄えること 火が燃え上がるように勢いの盛んなこと 試しに 指さして呼ぶこと 近く レンガ 人民の心 物事がはかどること 物事の勢いや調子が極度にたかまること ちらっと見ること 非常に たいそう いうまでもなく 勢いが衰えたり盛んになったりすること 重要な部分 鉄道国有化に伴い、明治41年(1908)に設置された鉄道行政の中央官庁 大正9年(1920)鉄道省に昇格 ゆっくりしていること おそいこと 本当に 以前には 前には 以下に記した氏名 かねてからの念願 果たす 終わらせる 多くのうらみ 人のいない寂しい谷間 喜びを伝える知らせ よい便り 心の底 多くのものが一つに集まり合うさま 力を添えて助けること 首を長くのばして待ち望むこと 整いそろっていること 心から望むこと 切望 大部分 大体 物事がうまく進まず、しくじること 失敗 熾盛に同じ＝さかんなこと 運が開く ひどく悲しみ惜しむこと 恐れや不安の念で、ぞっとすること とても長い間 何十年も 困って疲れはてること なえてしおれること 衰え、元気のなくなること 道より たすけ上げる ひたすらお願いすること 懇願 手紙文の末尾に書き添えて、相手に対する敬意を表す語
94	熱誠 披瀝 勿論 可成 御取纏相成候 尤も 附言 御携帯相成候 為念	ネッセイ ヒレキ モチロン ナルベク 御取纏相成候様御配慮相煩度 オントリマトメアイナリソウロウヨウゴハイリョアイワズラワシタク モットモ フゲン 御携帯相成候様御了知置有之度 ゴケイタイアイナリソウロウヨウゴリョウチコレアリタク ネンノタメ	熱情のこもった誠意 心の中を包み隠さずに打ち明けること いうまでもなく なるべく お取りまとめになるよう ご配慮を煩わしたく ただし 述べ終わったあとで、付け足して言うこと たずさえになるよう、ご了知いただきたく 念の為
95	呎	フィート	1フィートは3分の1ヤードで、12インチ、約30.48センチ

史料番号	字句	よみ	意味
	吋 鎖 軌条 碼 封度 道床 撞き 乃至 張芝 筋芝 土留 練積 空積 裏込 栗石 前後 石張 板張 護輪軌条 混凝土 煉瓦 輾圧 拱 函渠 蓋 伏樋 伏設 溝渠 疎水 隧道	インチ チェーン キジョウ ヤード ポンド ドウショウ ツキ ナイシ ハリシバ スジシバ ドドメ ネリツミ カラツミ ウラゴメ クリイシ ゼンゴ イシバリ イタバリ ゴリンキジョウ コンクリート レンガ テンアツ キョウ カンキョ フタ フセビ フセツ コウキョ ソスイ スイドウ、ズイドウ	1インチは1ヤードの36分の1、1フィートの12分の1で、2.54センチ 1チェーンは約20.1168メートル 線路 レール 1ヤードは3フィートで、約0.9144メートル 常用ポンドは1ポンドが16オンスで約453.59237グラム 鉄道線路の路盤と枕木との間の層 突き ～から あるいは 法面に芝を目串で止めて張り付ける方法 法面が一定の高さになるごとに水平線状に芝を植え込むこと 斜面の土砂が崩れ落ちるのを防ぐために柵などを設けること また、その工作物 目地(めじ)にモルタルを使って、石や煉瓦(れんが)などを積み上げること 石材・れんがなどを、モルタルなどの接合・充填材を使わないで積み上げること 石垣やトンネル覆土などの裏側に、割り栗石や砂利を詰め込むこと 土木建築用の直径10～15センチぐらいの石 多く基礎材として使う 前後 土木工事で、河床・堤防などの保護のため、石やセメントを一面にはること 板を張ること レールとレールの間にレールまたはL型鋼を設置し、脱線を防止するもの ガードレール コンクリート レンガ 平に引き延ばす アーチ 横断面が四角形の地下水路 ふた 暗渠(あんきよ)ともいい、地下に埋設された排水用の水路のこと 地中に設ける 給水や排水のため、土を掘ったみぞ 土地を切り開いてつくった水路 トンネル
96	哩 爾来 竣成 愈 省線 撒布	マイル ジライ シュンセイ イヨイヨ ショウセン サップ、サンブ	1マイルは約1.609キロメートル それ以来 大規模な建築物などができ上がること 竣工 ついに もと鉄道省(運輸省)の管理に属した鉄道線 まきちらすこと
97	哩 祝詞 莊重 淑やかな 美妓 芸妓 竣へ 茲に 予 欣幸 惟に 接邇 酷た 贊助 已まざるなり 聊か 所感	マイル 祝詞【ノリト】 ソウチョウ シトヤカナ ビギ ゲイギ オエ ココニ ヨ キンコウ オモウニ セツジ ハナハダ サンジョ ヤマザルナリ イササカ ショカン	1マイルは約1.609キロメートル 神に祈るときに神前で唱える古体の言葉 おごそかで重々しいこと たしなみ深いもの 静かな 上品な 美しい芸者 歌舞や音曲などで、酒宴の座に興を添えることを業とする女性 芸者 芸子 終え ここに わたくし 幸せに思っって喜ぶこと 思うに 接近 非常に 事業などの趣旨に賛成して力を添えること 終らない ほんの少し わずか 事に触れて心に感じた事柄 感想
98	哩 側線 転轍器 挺子 ラッチ 鎖錠	マイル ソクセン テンテツキ テコ latch サジョウ	1マイルは約1.609キロメートル 鉄道線路のうち、列車の運転に常用する本線に対し、操車用・引き込み用などの線路 分岐器(ぶんきき)を操作する装置 ポイント 分岐器とは、鉄道線路において線路を分岐させ、車両の進路を選択する機構 てこ ドアや門の掛け金 かんぬき 鍵をかけること 施錠
99	側線 亘線 煉瓦 低廉 徒に	ソクセン ワタリセン、コウセン レンガ テイレン イタズラニ	鉄道線路のうち、列車の運転に常用する本線に対し、操車用・引き込み用などの線路 鉄道車両が隣接あるいは交差する線路に渡るための線路 レンガ 金額の安い 無駄に
100	造兵廠	ゾウヘイショウ	旧日本陸海軍で、兵器・弾薬・車両・艦船などの購入・設計・製造・修理などを担当した 機関および工場

史料番号	字句	よみ	意味
	工廠	コウショウ	旧陸海軍に所属し、兵器・弾薬などの軍需品を製造・修理した工場
101	間寸 取調可被出旨 相違無御座候	ケン スン 御達に相成候 トリシラベニデラレルベキムネオンタッシニアイナリソウロウ ソウイゴザナクソウロウ ヘンシュウカカリ	1間はふつう6尺(約1.82メートル)の長さ 尺貫法の長さの単位 1寸は1尺の10分の1で、約3.03センチ 取締に出らるべき旨の通達になりました 相違ありません
102	惣代 哀訴 所以 蓋し 殷賑 寡かる 殷富 爰に 廻漕 海口 干鯛 聚散 洞通 四通八達 達 郡衙 大賈 日夕 殆んど 所謂ゆる 固より 纔に 僅に 乃至 恰かも 縦令 然り而るに 至慈 遺憾 夙に 疾くに 忌避 編製 採納 辱ふ 懇請 恐懼	ソウダイ アイン ユエン ケダシ インシン スクナカル インブ ココニ カイソウ カイコウ ホシカ シュウサン ドウツウ シツウハツツツ オオジ グンガ タイコ ニッセキ ホトンド イワユル モトヨリ ワズカニ ワズカニ ナイシ アタカモ タトエ シカリシカルニ シジ イカン ツトニ トクニ キヒ ヘンセイ サイノウ カタジケノウ コンセイ キョウク	総代 その関係者全員を代表する人 同情をひくように、強く嘆き訴えること 理由 まさしく たしかに 活気があってにぎやかなこと すくない 栄えて豊かなこと ここに 物資などを船で運送すること 港の異称 鯛から油をしぼりとったものを乾燥させた魚肥 集まったり散ったりすること 生産地から集めた品物を消費地へ送り出すこと 抜け通ること 交通網・通信網が広く四方八方に通じていること 大路 郡の役所 大商人 富裕な商人 豪商 昼も夜も いつも 大部分 大体 世間一般にいう もちろん かろうじて やっと かろうじて やっと ～から あるいは まるで もし…だとしても しかし それなのに 深き慈悲心 残念に思うこと ずっと以前から 早くから ずっと以前に きらって避けること 新しくつくること 採用すること 取り上げること 身にすぎて、ありがたい 心を込めてひたすら頼むこと 候文の手紙の末尾に記し、敬意を表す語
103	闔民 茲に 止事を得ず 抑 繁閑 参酌 不権衡 并に 毫も 詳具 已に業に 呈出 蓋し 了察 贅申 布ひて 休戚 耳朵 廿 填入 頭相 廻漕	コウミン ココニ ヤムコトヲエズ ソモソモ ハンカン サンシャク フケンコウ ナラビニ ゴウモ ショウグ ステニスデニ テイシュツ ケダシ リョウサツ ゼイシン シイテ キュウセキ ミミタブ、ジダ ニジュウ テンニユウ ケンソウ カイソウ	すべての民 ここに しかたがなく まづもって 忙しいことと暇なこと 他のものを参考にして長所を取り入れること ふつりあい 権衡＝均衡 並びに および また 少しも 詳しくつぶさに ずっと前に ずっと以前に 提出 まさしく たしかに 相手の事情や立場などを思いやること むだな申しで さらに 喜びと悲しみ 耳たぶ 20 (土砂が)入り込み埋まる あきらかになる 物資などを船で運送すること

史料 番号	字句	よみ	意味
	醜集 堀浚 忽ち 運漕 搬捷 阻碍 観易き 痛憂 措く 頻りに 愁情 催かされ 寔に 洞察 採納 頓首 再拝	キョシュウ ホリサラエ タチマチ ウンソウ ハンショウ ソガイ ミヤスキ ツウウ オク シキリニ シュウジョウ ウナガサレ マコトニ ドウサツ サイノウ トンシュ サイハイ	金品を出し合って、集めること 土砂を掘りあげて取り除く すぐに 船で貨物を運ぶこと 早く運ぶ 阻害 さまたげること 見やすい 痛くるしい 除く しばしば 悲しみに沈む気持ち ～するように仕向けられる 実に 本当に 物事を観察して、その本質や、奥底にあるものを見抜くこと 見通すこと 採用すること 取り上げること 手紙文の末尾に書き添えて、相手に対する敬意を表す語 手紙の終わりに相手に敬意を表して用いる語
104	茲に 無下に 左れば	ココニ ムゲニ サレバ	ここに むやみに そうであるなら
105	并に 納租米 回送 仲仕 爾後 地租改正 延いて 逮ぼし 憂慮 気脈 手合 専ら 較	ナラビニ ノウソマイ カイソウ ナカシ ジゴ チソカイセイ ヒイテ オヨボシ ユウリョ キミヤク テアイ モツパラ ヤヤ	並びに および また 年貢として納める米 一度送られてきたものを、改めて他の場所へ送ること 港などで、船の貨物をかついで運ぶ作業員 それ以来 以後 明治政府による土地・租税制度の改革 次いで また 更に 及ぼし 影響し 心配すること 仲間うちなどでの、考え・気持ちのつながり 連中 ただただ まったく わりあい 比較的
106	浚渫 曩に 具申 客月 此儘 并に 寓 距る 爾来 濫伐 夥しく 尤も 堀割 丈けは	シュンセツ サキニ グシン カクゲツ コノママ ナラビニ ヤド、グウ ヘダテル ジライ ランバツ オビタダシク モットモ ホリワリ ダケハ	海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること 以前に 前に 上位の機関に対して意見や事情を詳しく述べること 先月 このまま 並びに および また 宿 ～との間 それ以来 無計画に森林の木を伐採すること たくさん ただし 地面を掘ってつくった水路 …だけは
107	浚渫 拘らず 一入 勉励 進捗 客月 技手 催がし 引均したる 追願 僅に 弥々	シュンセツ カカワラズ ヒトシオ ベンレイ シンチョク カクゲツ ギシュ、ギテ ウナガシ ヒキナラシタル ツイガン ワズカニ イヨイヨ	海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること …関係なく いっそう ひときわ 一所懸命に努力すること 物事がはかどること 先月 官庁・会社などで、技師の下に属する技術者 ～するように仕向ける 平らにする ある願いをしている上に、さらに他の願いをすること かろうじて やっと ついに とうとう
108	浚渫 筈にて	シュンセツ ハズニテ	海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること 見込みにて 予定にて
109	浚渫 茲に 回航 稟請	シュンセツ ココニ カイコウ リンセイ	海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること ここに 船を目的の港に向かわせること 上役や上部機関などに申し出て請求すること
110	間 爾来	ケン ジライ	1間はふつう6尺(約1.82メートル)の長さ それ以来

史料番号	字句	よみ	意味
	驚愕 竣成 激昂 詳述 詮議 已むなく 憤慨 左れど 他日 禍害 稟請 而も 拘らず 暁は 荒蕪 廳て 速び 勿論 百方 画策 儘にても 愈々 其当 返戻 延て 已に 曩に 浚渫 港口 断乎 勿付け 採鹹 直に 郡衙 又亦 執達吏 催告 認諾 具状 下附 差繰 下戻 痛憤	キョウガク シュンセイ ゲキコウ ショウジュツ センギ ヤムナク フンガイ サレド タジツ カガイ リンセイ シカモ カカワラズ アカツキハ コウブ ヤガテ オヨビ モチロン ヒヤッポウ カクサク ママニテモ イヨイヨ ソノアタリ ヘンレイ ヒイテ ステニ サキニ シュンセツ コウコウ ダンコ ハネツケ サイカン ジキニ グンガ マタマタ シッタツリ サイコク ニンダク グジョウ カフ サシクリ カレイ、サゲモドシ ツウフン	非常に驚くこと 大規模な建築物などができ上がること 竣工 ひどく怒ること くわしく述べること 評議して明らかにすること しかたなく ひどく腹を立てること そうではあるが いつか別の日 後日 わざわざ 災難 上役や上部機関などに申し出て請求すること その上 さらに …関係なく 実現したその際は 土地が荒れて、雑草の茂るがままになっていること まもなく 及び 言うまでもなく すべての方面 あらゆる手段 はかりごとをめぐらすこと ままでも ついに とうとう そのあたり 返したりもどしたりすること 次いで また 更に 前に 先に 先日 海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること 港の出入り口 断固 要求や申し出などをにべもなく断る 濃い塩水を採ること すぐに 郡の役所 またまた 執行官の旧称 相手方に対して一定の行為をするように請求すること それを認めてよしとすること 詳しく事情を書き述べること 官庁から民間に金や物をさげわたすこと 予定・時間などをやりくりして都合をつける 役所などに差し出した書類をそのまま本人に戻すこと 大いに憤慨すること
111	稟請 閘門 間 石 浚渫	リンセイ コウモン ケン コク シュンセツ	上役や上部機関などに申し出て請求すること 運河・放水路などで、水量を調節するための堰 1間はふつう6尺(約1.82メートル)の長さ 尺貫法で体積の単位 1石は10斗で、180.39リットル 海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること
112	已に 則 毫も 篤志 了察	ステニ スナワチ ゴウモ トクシ リョウサツ	以前に 前に つまり 言いかえれば 少しも 志のあつこと 特に、社会事業や公共の福祉などに熱心に協力すること 相手の事情や立場などを思いやること
113	輿論 已に 稟請 開鑿 浚渫 尤も 夫れ丈け 尠なからざる 堤塘	ヨロン ステニ リンセイ カイサク シュンセツ モットモ ソレダケ スクナカラザル テイトウ	世間一般の人の考え 世論 以前に 前に 上役や上部機関などに申し出て請求すること 土地を切り開いて道路や運河などを通すこと 海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること ただし その分だけ 少なくない 土手 堤防
114	要枢 狭隘 漂砂 被存候 而して	ヨウスウ キョウアイ ヒョウサ ゾンジラレソウロウ シコウシテ、シカシテ	肝要な場所 面積などが狭くゆとりがないこと 海岸付近において、波の運動や潮流により、砂が移動する現象 ご存知でいらっしゃるでしょう そして また それから

史料番号	字句	よみ	意味
	種々可有之候も 上屋 仄聞 当路者 希望に不堪候	シュジュコリアルベクソウロウモ ウワヤ ソクブン トウロシヤ キボウニタエズソウロウ	色々なことがあるだろうが 駅や埠頭などで、旅客または貨物を雨露から防ぐために設けた、柱に屋根をかけただけの建物 人づてやうわさなどで聞くこと 重要な地位にいる人 希望してたえません
115	客月 尺 寸 広表 間 噸 仕向地 仕入地 完からざる 棧橋 巨離 官衙	カクゲツ シャク スン コウボウ ケン トン シムケチ シイレチ マツウカラザル サンバシ キョリ カンガ	先月 尺貫法の長さの単位 1寸の10倍で30.3センチ 尺貫法の長さの単位 1寸は1尺の10分の1で、約3.03センチ 広さ 面積 1間はふつう6尺(約1.82メートル)の長さ メートル法で、1トンは1000キログラム 商品・貨物などの送り先 商品・貨物などの買入先 全部やりとげていない 船を横づけにして、人の乗り降りや貨物の積みおろしなどができるように、岸から水上に突き出して造った構築物 距離 役所 官庁
116	上申 爾来 将亦 枢要 輓近 頓に 勿論 折角 狭隘 碇泊 喪う 茲に 詮議 這般 略 仄聞 明	ジョウシン ジライ ハタマタ スウヨウ バンキン トミニ モチロン セツカク キョウアイ テイハク ウシナウ ココニ センギ シャハン ホボ ソクブン アケテ	意見を上の者に申し述べること それ以来 それともまた あるいはまた 最も重要であること ちかごろ 最近 急に いうまでもなく わざわざ 面積などが狭くゆとりがないこと 船がいかりを下ろしてとまること 失う ここに 評議して明らかにすること このたび 今般 だいたい 人づてやうわさなどで聞くこと 年が変わって
117	稟請 碇泊 而も 惹起 不尠 巡羅 間然 詮議 并に 尤も 勃興 相俟つて 睹るも 忽 殊に 猖獗 紛擾 濫に 如斯 窃に 掘鑿 碇繫 濫用 毀損 響灘 頗ふる 所以	リンセイ テイハク シカモ ジャッキ スクナカラズ 巡邏【ジュンラ】 カンゼン センギ ナラビニ モットモ ボッコウ アイマッテ ミルモ タチマチ コトニ ショウケツ フンジョウ ミダリニ カクノゴトシ ヒソカニ クッサク テイケイ ランヨウ キソン ヒビキナダ スコブル ユエン	上役や上部機関などに申し出て請求すること 船がいかりを下ろしてとまること さらに 事件・問題などをひきおこすこと 少なくない 見回って警戒すること 欠点をついてあれこれと批判・非難すること 評議して明らかにすること 並びに および また とりわけ にわかに勢力を得て盛んになること 重なり合って 見ても すぐに とくに 猛威をふるうこと もめること 紛争 勝手気ままに このようなことを 密かに 地盤や岩盤を掘り取ったり削り取ったりすること 掘削 イかりをおろして船をつなぎとめておくこと 一定の基準や限度を越えてむやみに使うこと 物をこわすこと 播磨灘 非常に 理由
118	開陳 并に	カイチン ナラビニ	人の前で自分の心の中をありのままに述べること 並びに および また

史料 番号	字句	よみ	意味
	再応 踏査 進捗 仄聞 拝承 勿論 福音 延て 朝野 涵養 窃に 進境 想見 殊に 港口 狹隘 洵に 暁は 劇甚 詮議	サイオウ トウサ シンチョク ソクブン ハイショウ モチロン フクイン ヒイテ チョウヤ カンヨウ ヒソカニ シンキョウ ソウケン コトニ コウコウ キョウアイ マコトニ アカツキハ ゲキジン センギ	再び繰り返すこと 実際にその地へ出かけて調べること 物事がはかどること 人づてやうわさなどで聞くこと 承知することをへりくだっていう語 いうまでもなく 喜びを伝える知らせ よい便り 次いで また 更に 官民 無理をしないでゆっくりと養い育てること 密かに 進歩・上達の度合い 想像してみることに とくに 港の出入り口 面積などが狭くゆとりがないこと まったく ほんとうに 実現したその際は 非常にはげしいこと はなはだしいこと 評議して明らかにすること
119	祝詞 大祓 饗宴	ノリト オオハラエ キョウエン	儀式など改まった場面で、神に祈るときに神前で唱える古体の言葉 災いを除き、けがれを祓う儀式 客をもてなすための宴会
120	浚渫 狹隘 困憊 不忍 碇泊 所以 稟請 確守	シュンセツ キョウアイ コンパイ シノビズ テイハク ユエン リンセイ カクシュ	海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること 面積などが狭くゆとりがないこと 困って疲れはてること ～する気になれない 船がいかりを下ろしてとまること 理由 上役や上部機関などに申し出て請求すること 固く守ること
121	建議 浚渫 屢々 殆んど 此儘 如何様 爰 尠からず	ケンギ シュンセツ シバシバ ホトンド コノママ イカヨウ ココ スクナカラズ	意見を申し立てること 海底・河床などの土砂を、水深を深くするために掘削すること たびたび 大部分 大体 このまま どのよう ここ 少なくない
122	希む 興隆 屢報 愈よ 軽挙 沿革 専ら 自ら 人造絹糸 曹達 圍繞 邁進 噸 之辺 渺茫 トせなければ	ノゾム コウリュウ ルホウ イヨイヨ ケイキョ エンカク モツパラ オノズカラ ジンゾウケンシ ソーダ イジョウ、イニョウ マイシン トン コノアタリ ビョウボウ ボクセナケレバ	希望する 勢いが盛んになること しばしば報道すること ついに どうとう 軽はずみな行い 変遷 ひたすら ただただ 自然に 天然の絹糸をまねてつくった化学繊維 炭酸ナトリウムの俗称 また化合物中のナトリウム成分 まわりを取り囲むこと 恐れることなく突き進むこと メートル法で、1トンは1000キログラム このあたり 遠くはるかなさま 選び定めなければ